

令和 8 年 (令和 7 年版) 消 防 年 報



瀬戸内市消防本部

目 次

管内概況

1 位置・地勢	1
2 管内人口・世帯数・面積	1

沿 革

瀬戸内市消防本部の沿革	2 ～ 1 0
-------------------	---------

消防概況

消防庁舎の概況	1 1 ～ 1 2
---------------	-----------

総 務

1 瀬戸内市消防本部の機構	1 3
2 歴代消防長	1 3
3 職員の定員・実員及び配置表	1 4
4 職員の階級別年齢状況	1 4
5 職員別年齢状況	1 5
6 職員の研修状況	1 6
7 応援協定締結状況	1 6
8 職員の特殊技能資格取得状況	1 7
9 予算	1 8

予 防

1 防火対象物の現況と立入検査状況及び消防用設備等点検結果報告状況	1 9
2 防火管理者選任・消防計画作成状況	2 0
3 建築同意事務処理状況	2 1
4 建築同意事務処理の推移	2 1
5 消防用設備等関係届出事務処理状況	2 1
6 火災予防に関する届出等	2 2
7 過去 1 0 年間の防火対象物別火災件数	2 3
8 危険物施設の現況	2 4
9 危険物施設の形態	2 5
10 危険物規制事務状況	2 5
11 危険物関係立入検査状況	2 6
12 高圧ガス保安法関係施設数	2 7
13 高圧ガス保安法関係事務処理状況	2 7
14 液化石油ガス法事務処理状況	2 7
15 火薬類取締関係事務処理状況	2 7
16 自主防災組織結成状況	2 8
17 防火・防災指導、実技指導、広報活動状況	2 9

通 信

1 通信指令施設	3 0 ～ 3 1
2 有線通信施設	3 1
3 無線通信施設（デジタル、アナログ）	3 2 ～ 3 3
4 火災報知専用電話（1 1 9）月別受信状況	3 4

5	医療機関問い合わせの受付状況	3 5
6	月別気象状況	3 5
7	瀬戸内市の震度に関する情報	3 6

警 防 消 防

1	消防車両現勢一覧	3 7
2	火災概況	3 8
3	過去3年間の出火原因別火災発生状況	3 9
4	過去5年間の火災発生比較	4 0
5	過去10年間の火災動向	4 1
6	水利現況	4 1

警 防 救 急・救 助

1	救急概況	4 2
2	時間別出場件数	4 3
3	過去5年の署所別出場件数	4 3
4	曜日別月別救急出場件数	4 4
5	事故種別出場件数と男女別搬送人員	4 5
6	傷病程度別搬送状況	4 5
7	年齢区分別傷病程度の状況	4 6
8	事故種別応急処置状況	4 7
9	急病にかかる疾病分類・傷病程度別搬送人員	4 7
10	医療機関別搬送人員	4 8
11	管内管外別搬送人員	4 9
12	現場到着所要時間別出動件数状況	4 9
13	収容所要時間別搬送人員状況	5 0
14	発生場所別搬送人員	5 0
15	過去10年間の救急業務の推移	5 1
16	事故種別年齢区分別搬送人員	5 2
17	実技指導	5 3
18	救助概況	5 4

消 防 団

1	消防団の組織及び定員	5 5
2	消防団階級別人員調	5 6
3	団員の階級別年齢状況	5 7
4	団員報酬及び諸手当	5 8
5	消防団車両状況	5 9
6	出動状況	6 0

管内概況

1 位置・地勢

瀬戸内市は岡山県の南東部(東経134°0'5"・北緯34°39'消防本部基準)に位置し、西に県下三大河川の一つである吉井川をへだてて県都岡山市に隣接し、東・南は瀬戸内海に面しており、北は備前市に接しています。東西20.5km、南北15.5km管内面積は125.46km²です。JR赤穂線が市内を走り、市の中心部を東西に岡山ブルーラインが横断する交通条件を背景に、都市近郊型の良好な住宅環境や企業の立地等により発展しています。

年間降雨量は1,200mm内外という寡雨地帯であり、気温も年平均14.5℃内外で四季を通じて気候の温暖な地域です。瀬戸内海国立公園を形成する海や海岸線をはじめ、緑豊かな丘陵などの自然に恵まれた美しい景観です。古くから開けたまちとして栄え、神社仏閣や古窯跡群、朝鮮通信使関連遺跡や城跡などの史跡、竹久夢二の生家や備前長船刀剣博物館など多彩な歴史・文化資源があり、観光客が多く訪れています。また農業はもちろん、沿岸漁業において特にカキなどの養殖が盛んです。

平成16年11月に合併し、新しく誕生した瀬戸内市は、まちづくりの目標となる将来像を「人と自然が織りなす しあわせ実感都市 瀬戸内」として、市民一人ひとりが美しい海岸線や緑豊かな自然を愛し、ふるさとの歴史・文化に誇りを持ち、新しい夢を育み、生き生きと暮らせる住みよいまちづくりを進めています。



2 管内人口・世帯数・面積

令和8年4月1日現在

人 口	男	17,350 人	合 計
	女	18,378 人	35,728 人
世帯数	16,379 世帯		
面 積	125.46 k m ²		

沿 革

瀬戸内市消防本部の沿革

昭和48年	7月 12月	邑久地区消防組合設立協議会を設置。 邑久消防組合設置許可申請。
昭和49年	4月 〃 〃 5月 6月	邑久消防組合設立許可。(岡山県指令地第2号) 消防本部及び消防署設置についての政令指定を受ける。 消防職員15名を採用。 連絡車1台購入。 邑久消防組合消防本部、邑久消防署の業務を開始。
昭和50年	3月 4月 〃 5月 7月 〃 10月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。 消防職員7名採用し、総員22名となる。 救急業務開始。 邑久消防組合消防本部、邑久消防署庁舎完成。 消防ポンプ自動車1台購入。 無線中継局舎完成。 無線局開局。
昭和51年	3月 4月 6月 7月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車1台寄贈を受ける。 消防職員5名採用し、総員27名となる。 小型動力ポンプB-3級購入。 化学車1台購入。
昭和52年	4月 7月 10月 〃 12月	消防職員5名と一般職員1名採用し、総員33名となる。 日本消防協会より広報車1台寄贈を受ける。 消防ポンプ自動車1台購入。 牛窓分駐所庁舎完成。消防職員8名、消防ポンプ自動車1台、救急車1台を配備。 日本損害保険協会より消防ポンプ自動車1台寄贈を受ける。
昭和53年	2月 4月 9月 10月	日本損害保険協会より救急車1台寄贈を受ける。 消防職員9名採用し、総員42名となる。 日本消防協会より可搬積載車1台寄贈を受ける。 長船分駐所庁舎完成。消防職員8名、消防ポンプ自動車

		1 台、救急車 1 台を配備。
昭和 5 4 年	3 月	日本損害保険協会より救急車 1 台寄贈を受ける。
	〃	消防職員 1 名退職し、総員 4 1 名となる。
	4 月	消防職員 3 名採用し、総員 4 4 名となる。
	9 月	日本防火協会より予防広報車 1 台寄贈を受ける。
昭和 5 5 年	4 月	消防職員 1 名採用し、総員 4 5 名となる。
	9 月	日本消防協会より可搬積載車 1 台寄贈を受ける。
昭和 5 6 年	2 月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車 1 台寄贈を受ける。
	4 月	小型動力ポンプ C - 1 級購入。
	9 月	日本消防協会より指令広報車 1 台寄贈を受ける。
昭和 5 7 年	7 月	消防職員 1 名退職し、総員 4 4 名となる。
昭和 5 8 年	8 月	日本消防協会より救出救助用資器材搬送車 1 台寄贈を受ける。
昭和 5 9 年	4 月	緊急連絡車 1 台購入。
昭和 6 0 年	2 月	邑久消防組合敷地拡張造成工事をする。
	8 月	邑久消防組合敷地購入。
	1 0 月	1 5 m はしごバスケット付消防ポンプ自動車購入。
	1 2 月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車 1 台寄贈を受ける。
昭和 6 1 年	1 0 月	消防庁舎増改築工事竣工。
昭和 6 2 年	3 月	消防庁長官表彰 竿頭綬を受賞する。
	8 月	邑久消防組合敷地購入。
	9 月	日本消防協会より指令車 1 台寄贈を受ける。
	〃	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車 1 台寄贈を受ける。
	1 0 月	照明付救助工作車購入。
	1 2 月	日本自動車工業会より救急車 1 台寄贈を受ける。

昭和 6 3 年	8 月	邑久消防組合敷地購入。
平成元年	3 月	邑久消防組合訓練場造成完成。
	〃	消防職員 1 名退職し、総員 4 3 名となる。
	4 月	消防職員 2 名採用し、総員 4 5 名となる。
	5 月	連絡車 1 台購入。
平成 2 年	1 月	日本損害保険協会より救急車 1 台寄贈を受ける。
	9 月	日本防火協会より予防広報車 1 台寄贈を受ける。
平成 3 年	3 月	消防職員 2 名退職し、総員 4 3 名となる。
	4 月	消防長、邑久町役場より出向し、総員 4 4 名となる。
	5 月	連絡車 1 台購入。
	1 2 月	I S D N 1 1 9 番 2 台設置。
平成 4 年	2 月	日本損害保険協会より救急車 1 台寄贈を受ける。
	3 月	消防職員 1 名退職し、総員 4 3 名となる。
	4 月	消防職員 3 名（内 1 名は女性消防士）採用し、総員 4 6 名となる。
	1 0 月	消防ポンプ自動車 1 台購入。
	〃	今城地区 1 1 9 番電話回線切替え。
平成 5 年	4 月	消防職員 2 名を採用し、総員 4 8 名となる。
	〃	臨時職員を 1 名採用する。
	〃	一般職員から消防職員（女性消防吏員）に任命する。
	9 月	臨時職員 1 名退職する。
	1 0 月	消防ポンプ自動車 1 台購入。
	1 1 月	新消防庁舎の敷地造成起工。
平成 6 年	3 月	新消防庁舎の敷地造成完成。
	4 月	消防職員 2 名採用し、総員 5 0 名となる。
	〃	臨時職員 1 名採用する。
	5 月	邑久消防組合消防本部、消防署新庁舎及び防災センター起工。
	8 月	邑久町虫明 横山春松氏より救急車 1 台寄贈を受ける。

平成 7 年	1 月	兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）が発生し、神戸市へ応援活動。
	3 月	邑久消防組合消防本部、消防署新庁舎及び防災センター完成。
	3 月	通信指令設備新設（総合指令台 I 型、無線通信設備、気象観測装置、支援情報表示盤、非常用指令設備、録音装置、職員出退表示、電話交換機）
	〃	邑久消防組合 20 周年記念式典及び新庁舎完成落成式典。
	4 月	新消防庁舎へ移転、防災センター業務開始。
	〃	消防職員 2 名採用し、総員 52 名となる。
	〃	防災通信ネットワーク完成、運用開始。
	9 月	臨時職員 1 名退職。
	10 月	臨時職員 1 名採用する。
	11 月	旧消防庁舎解体工事完了。
	12 月	訓練塔完成（鉄筋コンクリート造・5 階建）
	〃	消防職員 1 名退職し、総員 51 名となる。
平成 8 年	4 月	消防職員 3 名採用し、総員 54 名となる。
	5 月	資機材搬送車（軽四輪車）1 台購入。
	8 月	可搬積載車 1 台購入。
	10 月	消防職員委員会発足。
	〃	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入。
	12 月	岡山県共済農業協同組合連合会より救急車 1 台寄贈を受ける。
平成 9 年	1 月	消防職員 1 名退職し、総員 53 名となる。
	3 月	消防長退任・職員 1 名退職し、総員 51 名となる。
	4 月	消防職員 1 名採用し、総員 52 名となる。
	〃	消防長、再任用され、総員 53 名となる。
	〃	救急救命士 2 名誕生する。
	7 月	消防職員 1 名退職し、総員 52 名となる。
平成 10 年	4 月	消防職員 1 名採用し、総員 53 名となる。
	〃	岡山県災害医療情報システム設置、運用開始。
	〃	救急救命士 3 名となる。
	11 月	移動体通信 119 番転送、受信装置設置、運用開始。

平成 1 1 年	2 月	高規格救急車 1 台購入。
	3 月	消防長退任・職員 1 名退職し、総員 5 1 名となる。
	4 月	消防職員 1 名採用し、総員 5 2 名となる。
	〃	消防長就任、総員 5 3 名となる。
	〃	救急救命士 4 名となる。
	〃	高規格救急車、運用開始。
	1 2 月	コンピューター西暦 2 0 0 0 年問題警戒体制をとる。
平成 1 2 年	4 月	消防職員 1 名採用し、総員 5 4 名となる。
	〃	救急救命士 5 名となる。
	8 月	日本損害保険協会より化学車 1 台寄贈を受ける。
	1 1 月	指揮車 1 台購入。
平成 1 3 年	3 月	日本消防協会より司令車 1 台寄贈を受ける。
	〃	消防庁長官表彰 表彰旗を受賞する。
	4 月	救急救命士 6 名となる。
	5 月	連絡車 1 台購入。
	6 月	邑久郡防災広域ネットワーク運用開始。
	8 月	資機材搬送車 1 台購入。
	〃	可搬積載車（軽四） 1 台購入。
平成 1 4 年	3 月	日本自動車工業会より高規格救急車 1 台寄贈を受ける。
	〃	消防職員 1 名退職し、総員 5 3 名となる。
	4 月	職員定数条例の改正により定数 6 8 人となる。
	〃	消防職員 4 名採用し、総員 5 7 名となる。
	〃	救急救命士 7 名となる。
	〃	連絡車 1 台購入。
平成 1 5 年	4 月	消防職員 5 名採用し、総員 6 2 名となる。
	〃	救急救命士 8 名となる。
	6 月	消防職員 1 名退職し、総員 6 1 名となる。
平成 1 6 年	3 月	消防職員 1 名退職し、総員 6 0 名となる。
	〃	消防ポンプ自動車 1 台購入。
	4 月	消防職員 5 名採用し、総員 6 5 名となる。
	〃	救急救命士 9 名となる。
	7 月	消防職員 1 名退職し、総員 6 4 名となる。

平成 17 年	1 1 月	瀬戸内市発足に伴い、瀬戸内市消防本部となる。
	〃	瀬戸内市から職員 1 名配属され、総員 65 名となる。
	〃	瀬戸内市より連絡車 1 台寄贈を受ける。
	1 2 月	消防職員 1 名退職し、総員 64 名となる。
	〃	救助工作車 1 台を更新。
	1 月	消防職員 1 名退職し、総員 63 名となる。
	4 月	消防職員 5 名採用し、総員 68 名となる。
	〃	救急救命士 10 名となる。
	1 0 月	長船分駐所の増・改修工事完了。
	1 1 月	高規格救急車 1 台購入。
平成 18 年	1 2 月	携帯電話からの 119 番直接受信開始。
	3 月	消防職員 1 名退職し、総員 67 名となる。
	4 月	消防職員 2 名採用し、総員 69 名となる。
	〃	救急救命士 11 名となる。
平成 19 年	1 2 月	消防職員 1 名退職し、総員 68 名となる。
	1 月	はしご車 1 台を更新。
	3 月	消防職員 1 名退職し、総員 67 名となる。
	4 月	消防長、就任し総員 68 名となる。
	〃	消防職員 1 名採用し、総員 69 名となる。
	〃	救急救命士 12 名となる。
	5 月	瀬戸内市消防団より消防ポンプ自動車 1 台移管。
平成 20 年	1 2 月	消防職員 1 名退職し、総員 68 名となる。
	3 月	消防職員 2 名退職し、総員 66 名となる。
	4 月	消防職員 1 名採用し、総員 67 名となる。
	〃	救急救命士 13 名となる。
平成 21 年	3 月	消防長退任、消防職員 2 名退職し、総員 64 名となる。
	4 月	消防職員 4 名採用し、総員 68 名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士 14 名となる。
	1 1 月	高規格救急車 1 台購入。
平成 22 年	3 月	牛窓分駐所 C D - I 消防ポンプ自動車 1 台更新。

平成 23 年	〃	高機能指令センター統合型指令装置更新整備。
	〃	消防職員 1 名退職し、総員 67 名となる。
	4 月	消防職員 2 名採用し、総員 69 名となる。
	〃	救急救命士 15 名となる。
	7 月	消防職員 1 名退職し、総員 68 名となる。
平成 24 年	3 月	東日本大震災が発生し、宮城県多賀城市へ応援活動。
	〃	消防職員 1 名退職し、総員 67 名となる。
	4 月	消防職員 2 名採用し、総員 69 名となる。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員 1 名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士 16 名となる。
平成 25 年	3 月	消防職員 1 名退職し、総員 68 名となる。
	4 月	消防職員 1 名採用し、総員 69 名となる。
	〃	救急救命士 17 名となる。
	11 月	全国共済農業協同組合連合会岡山県本部より、高規格救急車 1 台寄贈を受ける。
平成 26 年	3 月	消防職員 1 名退職し、総員 68 名となる。
	〃	岡山市消防局と人事交流を終了する。
	4 月	消防職員 1 名採用し、総員 69 名となる。
	〃	救急救命士 17 名となる。
平成 27 年	3 月	消防長退任し、総員 68 名となる。
	〃	瀬戸内市職員 1 名市へ帰職し、総員 67 名となる。
	4 月	消防救急デジタル無線運用開始。
	〃	消防職員 2 名採用し、総員 69 名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士 18 名となる。
平成 27 年	8 月	豪雨による広島土砂災害が発生し、安佐南区へ応援活動。
	3 月	消防職員 1 名退職し、総員 68 名となる。
	4 月	消防職員 1 名採用し、総員 69 名となる。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員 1 名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士 19 名となる。

平成 28 年	4 月	岡山県消防学校と人事交流し職員 1 名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士 20 名となる。
	〃	熊本地震が発生し、熊本県益城町へ応援活動。
平成 29 年	3 月	消防職員 2 名退職し、総員 67 名となる。
	4 月	消防職員 5 名採用し、総員 72 名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員 1 名を相互に派遣する。
	〃	救急救命士 22 名となる。
	〃	岡山県消防防災航空隊へ 1 名派遣する。
	10 月	消防職員 1 名退職し、総員 71 名となる。
平成 30 年	3 月	消防職員 5 名退職し、総員 66 名となる。
	4 月	消防職員 6 名採用し、総員 72 名となる。
	〃	救急救命士 23 名となる。
	7 月	平成 30 年 7 月豪雨災害が発生し、倉敷市真備町へ県下消防相互応援協定に基づく応援活動。
平成 31 年	3 月	消防職員 2 名退職し、総員 70 名となる。
	4 月	消防職員 6 名採用し、総員 76 名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士 24 名となる。
令和元年	6 月	消防職員 1 名退職し、総員 75 名となる。
令和 2 年	3 月	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入。
	〃	消防職員 8 名退職し、総員 67 名となる。
	4 月	消防職員 6 名採用し、総員 73 名となる。
	〃	岡山県消防学校へ 1 名派遣する。
	〃	救急救命士 26 名となる。
	12 月	日本損害保険協会より、高規格救急車 1 台寄贈を受ける。
令和 3 年	3 月	消防職員 3 名退職し、総員 70 名となる。
	4 月	消防職員 3 名採用し、総員 73 名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	救急救命士 25 名となる。
	9 月	消防職員 1 名退職し、総員 72 名となる。

令和4年	10月	長船分駐所庁舎新設移転。
	12月	高規格救急車1台購入。
	2月	支援車Ⅱ型（クレーン付き資機材搬送車）1台購入。
	3月	消防職員2名退職し、総員70名となる。
	4月	消防職員3名（内1名は女性消防士）採用し、総員73名となる。
	〃	消防長就任する。
	〃	岡山市消防局と人事交流し、職員1名を相互に派遣する。
令和5年	〃	救急救命士23名となる。
	2月	13mブーム付き多目的消防ポンプ車1台購入。
	4月	消防職員1名採用し、総員74名となる。
	〃	救急救命士25名となる。
令和6年	〃	岡山県消防防災航空隊へ1名派遣する。
	3月	職員1名退職し、総員73名となる。
	4月	消防職員3名採用し、再任用者1名を採用し総員77名となる。
	〃	消防長就任する。
令和7年	〃	救急救命士26名となる。
	4月	消防職員4名採用し、総員81名となる。
		救急救命士27名となる。
		岡山県消防学校へ1名派遣する。
令和8年	12月	高機能指令センター更新整備
	3月	救助工作車1台購入。
	〃	職員6名退職し、総員75名となる。
	4月	消防職員3名採用し、総員78名となる。
	〃	救急救命士28名となる。

消防概況

消防庁舎の概況

消防本部・消防署・防災センター



所在地	岡山県瀬戸内市邑久町本庄 1795 番地
構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 2 階建
延床面積	2008.92㎡ (防災センター555㎡)
敷地面積	8077.46㎡
	平成7年3月竣工

消防訓練塔



構造	鉄筋コンクリート造 5 階建
地上高	18.80m
建築面積	34.32㎡
延床面積	138.87㎡
	平成7年12月竣工

瀬戸内市消防署 牛窓分駐所



所	在	地	岡山県瀬戸内市牛窓町牛窓 6405-1
構		造	鉄筋コンクリート造 2階建
延	面	積	201.21 m ²
敷	地	積	341.25 m ²
			昭和 52 年 10 月竣工

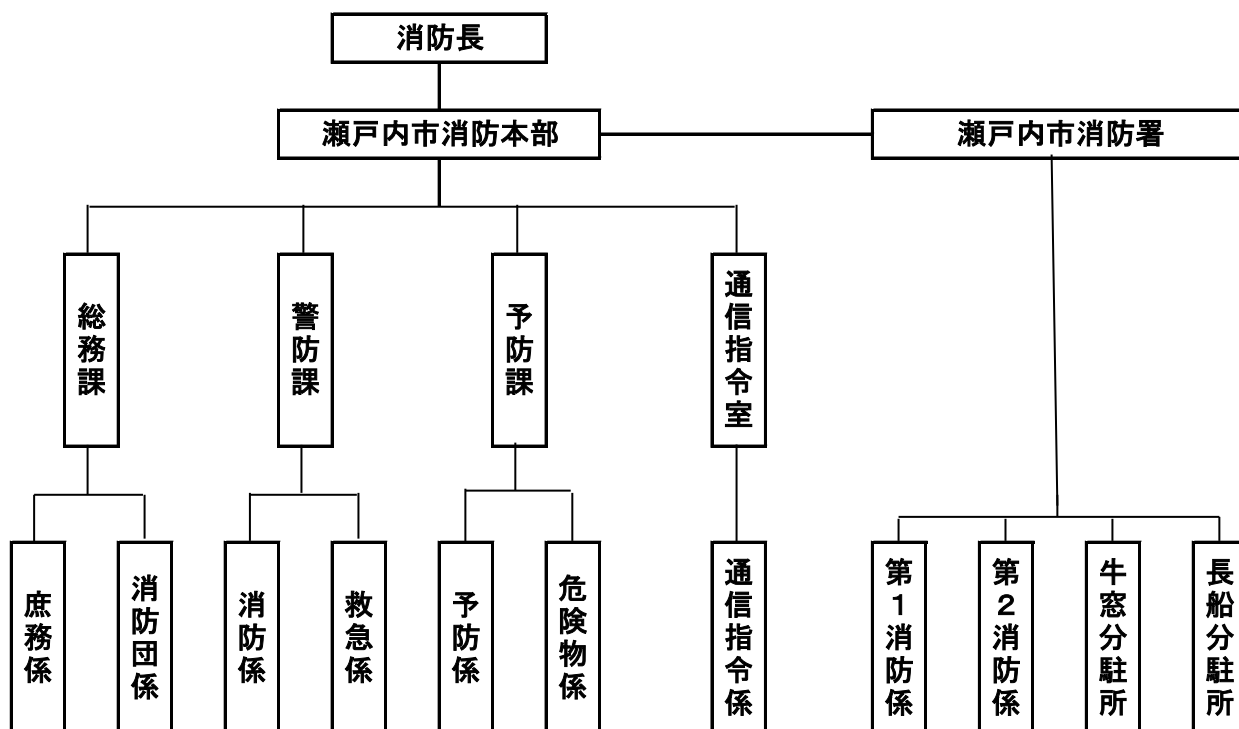
瀬戸内市消防署 長船分駐所



所	在	地	岡山県瀬戸内市長船町土師 313-7
構		造	鉄筋コンクリート 2階建
延	面	積	320.95 m ²
敷	地	積	725.97 m ²
			令和 3 年 10 月竣工

総務

1. 瀬戸内市消防本部の機構



2. 歴代消防長

瀬戸内市消防本部				
歴代消防長	初代	太田英晴	H 16.11.1 ~ H 18.3.31	専任
	2代	藤原和正	H 18.4.1 ~ H 19.3.31	〃
	3代	小野田和義	H 19.4.1 ~ H 21.3.31	〃
	4代	柴田佳明	H 21.4.1 ~ H 26.3.31	〃
	5代	岡崎政人	H 26.4.1 ~ H 29.3.31	〃
	6代	鶴海栄一	H 29.4.1 ~ H 31.3.31	〃
	7代	高原正利	H 31.4.1 ~ R 3.3.31	〃
	8代	田淵光彦	R 3.4.1 ~ R 4.3.31	〃
	9代	植松謙二	R 4.4.1 ~ R 6.3.31	〃
	10代	川部敬司	R 6.4.1 ~ 現在	〃

3. 職員の定員・実員及び配置表

【定員100名】

令和8年4月1日現在

階 級 区 分			総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
実 員			78	1	19	20	22	7	9
実員配置列	消防本部	消 防 長	1	1					
		次 長							
		総 務 課	8		2	4	2		
		警 防 課	4		3	1			
		予 防 課	5		2	1	1	1	
		通信指令室	8		4	2	2		
	消 防 署		40		6	9	12	5	8
	分 駐 所		12		2	3	4	2	1

4. 職員の階級別勤続年数

令和8年4月1日現在

階級 年数区分	総数	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士
1年未満	3						3
1年以上～5年未満	7					1	6
5年以上～10年未満	20				14	6	
10年以上～15年未満	4				4		
15年以上～20年未満	9			5	4		
20年以上～25年未満	18		4	14			
25年以上～30年未満	4		4				
30年以上～35年未満	10		10				
35年以上	3	1	1	1			
計	78	1	19	20	22	7	9

5. 職員別年齢状況

【定員100名】

令和8年4月1日現在

階 級	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
区 分	数	長	令	補	長	長	士
総数	78	1	19	20	22	7	9
18歳	2						2
19歳	3						3
20歳	1						1
21歳	1						1
22歳							
23歳	1						1
24歳	1						1
25歳	2					2	
26歳	1					1	
27歳	2				1	1	
28歳	6				5	1	
29歳	1					1	
30歳	1				1		
31歳	2				2		
32歳	3				2	1	
33歳							
34歳	2				2		
35歳	1				1		
36歳	4			1	3		
37歳	3				3		
38歳	3			2	1		
39歳	4			3	1		
40歳	2			2			
41歳	3			3			
42歳	1			1			
43歳							
44歳	4			4			
45歳	1			1			
46歳	3		1	2			
47歳	2		2				
48歳	2		2				
49歳	3		3				
50歳	5		5				
51歳							
52歳	1		1				
53歳	2		2				
54歳							
55歳							
56歳	1		1				
57歳	2		2				
58歳	1	1					
59歳							
60歳							
61歳							
62歳							
63歳							
64歳	1			1			

6. 職員の研修状況（過去15年間）

令和8年4月1日現在

		年	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3	4	5	6	7	総数
岡山県消防学校	初任教育		2		1	2	1		4	5	6	5	3	3	1	3	4	40
	幹部教育(初級幹部科)		1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	22
	幹部教育(中級幹部科)						1	2	1	1	1	1	2	2	2	2	2	17
	救助科		2	2	1	1	2	1	1	4	5	6	4	3		2	1	35
	予防科		1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	22
	救急科		2		1	2	1		4	5	6	5	3	3	1	3	4	40
	警防科		2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	23
	火災調査科		2	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	2	2	2	2	22
	通信指令研修												2	2	2	2	2	10
	救急二次救命講習			1														1
	ビデオ硬性喉頭鏡講習			1	3	4	2			2	2				1			15
	ショック輸液・ブドウ糖投与講					1	2		3									6
	救急外傷初療講習		1		1													2
	MCLS					1									2		3	6
	ブラッシュアップ研修												2	2	2	2	2	12
実火災体験型訓練指導者研修											1		4	4	4	4	21	
消防大学校	予防科									1								1
	警防科						1					1						2
	幹部科												1	1				2
	救急科																	0
	火災原因調査科								1									1
	救助科																	0
	危険物科																	0
	火災調査講習会																	0
	調査研究科(自主防災指導者コース)																	0
その他	ドローン検定											2	2	2	2	2	2	12
	墜落制止用器具特別教育											2	2	2	2	2	2	12
	MCLS標準コース						1	1	1	1	2					3	3	12
	JPTec				1	1			2	1	1				4	4	4	18
	緊急自動車運転技能研修											1		1	1	2	1	6
救急救命士養成研修			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
指導救命士養成研修									1			1		1		1		4

7. 応援協定締結状況

	締結先	締結年月日
1	東 備 消 防 組 合	昭和51年5月1日
2	赤 磐 市 消 防 本 部	昭和51年7月1日
3	岡 山 市 消 防 局	平成17年3月22日
4	岡山県下消防相互応援協定	平成20年3月31日

8.職員の特殊技能資格取得状況

令和8年4月1日現在

階 級 資 格 別		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
実 員		1	19	20	22	7	9	78
大 型（第 1 種）運 転 免 許		1	17	20	22	5		65
特 殊 無 線 技 師（2 級 特 技）		1	19	20	22	7	6	75
小 型 船 舶 操 縦 士		1	3	11	14	5	1	35
ア セ チ レ ン ガ ス 溶 接			2	2	1			5
労 働 衛 生 管 理 者（第 1 種）				2	2			4
電 気 工 事 士			1	3				4
移 動 式 ク レ ー ン			12	12	11	1		36
玉 掛 け			13	13	12	1		39
救 急 救 命 士			10	11	7	1		29
消 防 設 備 士	甲 種			1				1
	乙 種		1	2	1	2		6
危 険 物 取 扱 者	甲 種			2				2
	乙 種		7	10	8	2		27
予 防 技 術 者 資 格 （ 防 火 査 察 専 門 員 ）			4	8	2	2		16
予 防 技 術 者 資 格 （ 消 防 用 設 備 等 専 門 員 ）		1	1	6	1	1		10
予 防 技 術 者 資 格 （ 危 険 物 専 門 員 ）				7	2	1		10
ド ロ ー ン 検 定			3	5	5	1		14
フルハーネス型墜落制止用器具				6	7	1		14
潜 水 士			2	5	9	3		19

9. 予 算

(1) 令和 8 年度消防予算（当初）額と令和 7 年度消防予算（当初）額 単位：千円

	令和 8 年度予算	令和 7 年度予算	比 較 増 減
常 備 消 防 費	700,063	669,043	31,020
給料	308,708	297,316	11,392
職員手当等	206,813	198,528	8,285
共済費	96,959	89,982	6,977
報償費	10	10	0
旅費	1,457	1,247	210
需用費	25,368	25,940	△ 572
役務費	9,218	9,278	△ 60
委託料	4,808	4,484	324
使用料及び賃貸料	4,021	3,753	268
工事請負費	0	0	0
原材料費	10	10	0
備品購入費	6,842	2,594	4,248
負担金補助及び交付金	35,610	35,098	512
公課費	239	803	△ 564
非常備消防費	47,127	46,065	1,062
報酬	20,089	20,235	△ 146
報償費	5	5	0
旅費	5,533	5,350	183
交際費	45	45	0
需用費	4,403	3,046	1,357
役務費	2,165	2,310	△ 145
委託料	58	58	0
使用料及び賃貸料	10	49	△ 39
備品購入費	43	59	△ 16
負担金補助及び交付金	14,393	14,463	△ 70
公課費	383	445	△ 62
消 防 施 設 費	87,901	458,466	△ 370,565
需用費	1,916	500	1,416
委託料	0	7,579	△ 7,579
工事請負費	0	242,787	△ 242,787
備品購入費	82,803	205,300	△ 122,497
負担金補助及び交付金	3,182	2,300	882
合 計	835,091	1,173,574	△ 338,483

(2) 令和 8 年度消防予算（当初）額等の比率

単位：千円

	総 額	人口 1 人当り	1 世帯当り	1 日当り
消防予算（当初）額	835,091	23	51	2,288

※水防費は除く

予 防

1. 防火対象物の現況と立入検査状況及び消防用設備等点検結果報告状況

令和7年度

防火対象物の区分			防火対象物数	立入検査数	立入検査率	点検結果報告件数
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場				
	ロ	公会堂・集会場	53	16	30%	45
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等				
	ロ	遊技場・ダンスホール	4	2	50%	4
	ハ	風俗営業店舗等・その他総務省令				
	ニ	カラオケボックスその他	1	0	0%	0
3	イ	待合・料理店等				
	ロ	飲食店	111	6	5%	11
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場	59	13	22%	46
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	84	17	20%	46
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	157	18	11%	41
6	イ	病院・診療所・助産所等	65	25	38%	52
	ロ	老人短期入所施設等	15	9	60%	15
	ハ	老人デイサービスセンター等	73	18	25%	50
	ニ	幼稚園・盲学校・ろう学校・養護学校	5	0	0%	5
7		小・中・高・大・各種学校等	54	0	0%	47
8		図書館・博物館・美術館等	17	6	35%	15
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	4	1	25%	1
	ロ	イ以外の公衆浴場	5	3	60%	5
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場				
11		神社・寺院・教会等	44	8	18%	23
12	イ	工場・作業場	273	24	9%	102
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫・駐車場	18	2	11%	5
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	249	19	26%	112
15		前各項に該当しない事業所	283	35	12%	147
16	イ	特定複合用途防火対象物	71	12	17%	41
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	58	3	5%	13
16の2		地下街				
16の3		準地下街				
17		重要文化財・重要美術品等の建造物	15	15	100%	10
18		延長50m以上のアーケード				
19		市町村の指定する山林				
20		総務省令で定める舟車				
合 計			1,718	252	14.7%	836

備考 建築物は、17の項を除き延べ面積が150㎡以上のものを、防火対象物数にあっては、3月31日現在で、計上している

2. 防火管理者選任・消防計画作成状況

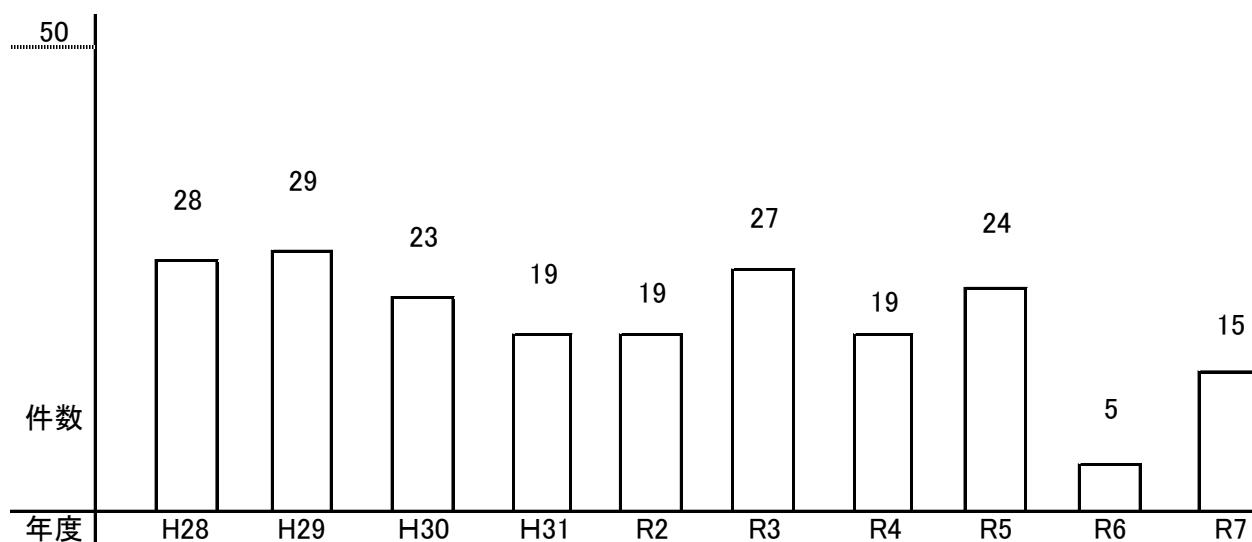
令和7年度

防火対象物の区分			防火管理者選任 及び消防計画作成 義務対象物数	防火管理者届出 済対象物数	消防計画届出 済対象物数
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場			
	ロ	公会堂・集会場	42	37	37
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	3	2	2
	ハ	風俗営業店舗等・その他総務省令			
	ニ	カラオケボックスその他	1	1	1
3	イ	待合・料理店等			
	ロ	飲食店	14	12	12
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場	42	41	41
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	14	13	13
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	10	9	9
6	イ	病院・診療所・助産所等	7	7	7
	ロ	老人短期入所施設等	15	11	11
	ハ	老人デイサービスセンター等	21	19	19
	ニ	幼稚園・盲学校・ろう学校・養護学校	4	4	4
7		小・中・高・大・各種学校等	13	12	12
8		図書館・博物館・美術館等	5	5	5
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等			
	ロ	イ以外の公衆浴場			
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場			
11		神社・寺院・教会等	5	3	3
12	イ	工場・作業場	23	18	18
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場			
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫			
14		倉庫	5	3	3
15		前各項に該当しない事業所	19	17	17
16	イ	特定複合用途防火対象物	33	19	19
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	6	4	4
16の2		地下街			
16の3		準地下街			
17		重要文化財・重要美術品等の建造物			
18		延長50m以上のアーケード			
19		市町村の指定する山林			
20		総務省令で定める舟車			
合 計			282	237	237

3. 建築同意事務処理状況 令和7年度

工事種別	件 数
新 築	14
増 築	1
改 築	0
そ の 他	0
合 計	15

4. 建築同意事務処理の推移



5. 消防用設備等関係届出事務処理状況

令和7年度

	消 火 器	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	泡 消 火 設 備	粉 末 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	動 力 消 防 ポン プ 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 通 報 装 置	非 常 警 報 設 備 (ベル)	非 常 警 報 設 備 (放送)	避 難 器 具	誘 導 灯 及 び 誘 導 標 識	消 防 用 水	連 結 送 水 管	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備
着工届	1	2	0	0	0	0	0	14	0	1	1	2	1	4	0	0	0
設置届	40	2	0	0	0	0	0	26	0	1	3	2	1	20	0	0	0

6. 火災予防に関する届出件数

令和7年度

届出等の種別 \ 月別	計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防火対象物使用開始届	36	5	1	2	5	6	3	5	1	2	3	2	1
防火管理者選任・解任届	95	11	7	9	17	16	6	2	3	3	7	7	7
消防計画作成・変更届	120	19	11	12	20	17	6	2	4	4	9	9	7
防火対象物点検結果報告書	33	3	4	1	1	2	3	2	4	2	7	2	2
自衛消防訓練通知書	411	47	37	26	50	38	22	46	31	33	22	20	39
改修計画書	46	1	5	2	3	4	6	13	1	0	2	3	6
消防用設備等計画届	13	8	0	0	3	1	0	0	1	0	0	0	0
消防用設備等特例適用申請 消防用設備等免除申請	4	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
液化石油ガス等の貯蔵取扱い届	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
少量危険物・指定可燃物の貯蔵取 扱い届	3	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
火を使用する設備の設置届	5	0	0	0	0	1	0	2	0	0	1	1	0
変電・発電・蓄電池設備の設置届	20	2	2	1	1	0	2	3	2	1	1	3	2
煙火打上げ届	3	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0
露店等の開設届出書	35	3	2	1	3	1	3	7	4	2	1	1	7
火災とまぎらわしい煙(火災)を発す る行為の届	134	5	7	10	13	9	14	8	6	14	21	13	14
圧縮アセチレンガス貯蔵開始届	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
合 計	960	105	77	64	117	97	67	91	60	62	74	61	85

7. 過去10年間の防火対象物別火災件数

防火対象物の区分			27年	28年	29年	30年	31年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
1	イ	劇場・映画館・演芸場・観覧場											
	ロ	公会堂・集会場											
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等											
	ロ	遊技場・ダンスホール											
	ハ	風俗営業店舗等・その他総務省令											
	ニ	カラオケボックスその他											
3	イ	待合・料理店等											
	ロ	飲食店								1	1		1
4		百貨店・マーケット・店舗・展示場			1							1	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所											
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	2										
6	イ	病院・診療所・助産所等											
	ロ	老人福祉施設・児童福祉施設等											
	ハ	幼稚園・盲学校・ろう学校・養護学校	1										
7		小・中・高・大・各種学校等								1			
8		図書館・博物館・美術館等											
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等											
	ロ	イ以外の公衆浴場											
10		車両の停車場・船舶・航空機の発着場											
11		神社・寺院・教会等											
12	イ	工場・作業場		3		1	2	1		1	3		
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ											
13	イ	自動車車庫・駐車場											1
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫											
14		倉庫		1	2						1		
15		前各項に該当しない事業所			1			1	1		1		
16	イ	特定複合用途防火対象物											
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		1									
16の2		地下街											
16の3		準地下街											
17		重要文化財・重要美術品等の建造物											
18		延長50m以上のアーケード											
19		市町村の指定する山林											1
20		総務省令で定める舟車											
合 計			3	5	4	1	2	2	1	3	6	1	3

8. 危険物施設の現況

令和7年度

製造所等の別 指定数量の倍数別 類 別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所
合 計	171	10	34	19	1	36	1	10	2	28	30
5倍以下	61	1	13	11		17	1	10		1	7
5倍を超え 10倍以下	32	3	10	3	1	5			2		8
10倍を超え 50倍以下	51	5	5	3		11				15	12
50倍を超え 100倍以下	11	1	3							4	3
100倍を超え 150倍以下	9		2	2		1				4	
150倍を超え 200倍以下	2		1							1	
200倍を超え1000倍以下	5					2				3	
第 3 類 の み	1		1								
第 4 類 の み	165	8	30	19	1	36	1	10	2	28	30
類 混 在	5	2	3								

9. 危険物施設の形態

令和7年度

形態の区分	合 計	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	平 屋 建				平 屋 建 以 外	建 築 物 内 設 置	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	準 特 定	特 定	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	平 屋 建 以 外	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	積 載 式	給 油 タ ン ク 車
				高 層 式	特 高 層 式	指 定 過 酸 化 物													
数	171	10	34	1	1			1		19			1		36	1	10	1	

形態の区分	屋外貯蔵所	硫黄等	給油取扱所	セル	航空機	船舶	鉄道又は軌道	自家用	セル	一般取扱所	吹付塗装作業	洗浄作業	焼入作業等	ボイラー等消費	充てん	詰替え	油圧装置等	切削装置等	熱媒油等	循環装置等
数	2		28	4		3		15		30	1			2	2	9				

10. 危険物規制事務状況

令和7年度

区分	可 許						検 査 成 完						タンク 検査		承認		認可	受 理													
種 別	設置			変更			設置			変更			水 張	水 圧	仮 用	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	予 防 規 程 制 定 ・ 変 更	保 安 監 督 者 選 任 ・ 解 任 届	品 名 ・ 数 量 ・ 倍 数 の 変 更 届	火 気 使 用 工 事 届	危 険 物 非 定 常 作 業 届	関 係 届				休 止 ・ 再 開 届	譲 渡 ・ 引 渡 届	廃 止 届	事 故 届		
	製 造 所	貯 蔵 所	取 扱 所	製 造 所	貯 蔵 所	取 扱 所	製 造 所	貯 蔵 所	取 扱 所	製 造 所	貯 蔵 所	取 扱 所										代 表 者 氏 名 等 の 変 更	危 険 物 以 外 の 物 品 の 貯 蔵	資 料 の 提 出	申 請 の 取 下 げ						
数		2	1	4		21		2		3	4	17		1	13		7	10	15	6		1		78		3		1	2		

11. 危険物関係立入検査状況

令和7年度

製造所等の別	合計	無許可・無承認の場所	仮貯蔵・仮取扱	危険物施設										少量危険物貯蔵取扱所	施工検査	休止・再開検査	廃止検査	道路上等		事故調査
				製造所	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	一般取扱所					移動タンク貯蔵所	危険物運搬車両	
対象施設数	50	0	0	5	10	7	0	2	0	0	0	16	10	154	1	0	1	0	0	0
	令和6年度	76	0	0	8	12	0	5	12	1	5	0	15	18						
	令和5年度	109	0	0	8	19	13	1	20	0	5	2	20	21						
実施数	令和4年度	117	0	0	8	27	12	0	14	0	10	0	15	31						
	令和3年度	74	0	0	8	27	0	0	11	0	3	0	15	10						
	令和2年度	45	0	0	8	13	10	0	4	0	0	0	6	4						
	平成31年度	65	0	0	8	20	0	0	18	0	8	0	6	5						
	平成30年度	113	0	0	5	12	5	0	12	0	10	0	7	9						
	平成29年度	42	0	0	5	10	6	0	4	0	3	0	6	8						
	平成28年度	73	0	0	0	7	5	0	10	0	9	0	30	12						
	平成27年度	44	0	0	0	0	5	0	15	0	4	0	8	12						
	平成27年度	43	0	0	5	12	3	0	0	0	9	0	8	6						

12. 高圧ガス保安法関係施設数

令和7年度

区 分	一 般 ・ L P 則	冷 凍 則	合 計
第 1 種 製 造 者	2	4	6
第 2 種 製 造 者	4	31	35
第 1 種 貯 蔵 所	1	0	1
第 2 種 貯 蔵 所	3	0	3
販 売 業 者	7	0	7
特 定 高 圧 ガ ス 消 費 者	4	0	4

13. 高圧ガス保安法関係事務処理状況

令和7年度

区 分	件 数
製 造 許 可	0
製 造 施 設 等 変 更 許 可	2
貯 蔵 所 設 置 許 可	0
貯 蔵 所 変 更 許 可	0
製 造 ・ 貯 蔵 完 成 検 査	1
販 売 事 業 届	0
特 定 高 圧 ガ ス 消 費 届	0
そ の 他 の 届	0
保 安 検 査	1
合 計	4

14. 液化石油ガス法事務処理状況

令和7年度

区 分		件 数
充てん設備	許 可 （ 変 更 ）	0
	完 成	0
	保 安 検 査	0
液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届		0

15. 火薬類取締関係事務処理状況

令和7年度

区 分		件 数
許 可	消 費 許 可	3
立入検査	煙 火 消 費 場 所	3

16. 自主防災組織結成状況

令和8年4月1日現在

	幼年消防クラブ		少年消防クラブ		婦人防火クラブ		合 計	
	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
牛窓町	6	246	5	81	1	38	12	365
邑久町	9	981	4	494	13	308	26	1783
長船町	9	690	4	307	3	47	16	1044
合 計	24	1917	13	882	17	393	54	3192



文化財防火デーに伴う消火訓練

17. 防火・防災指導、実技指導、広報活動状況

(1) 防火・防災指導 令和7年度

内 容	回 数
防火・防災講話	3
防災映画・ビデオ等	1
消防署見学・体験学習	29
合 計	33

(2) 実技指導 令和7年度

内 容	回 数
消火・避難訓練	15
起震車体験	8
煙体験	10
合 計	33

(3) 広報活動 令和7年度

内 容	回 数
巡回広報・パレード	延べ20回
防火啓発紙の配布	延べ7回
市広報誌への掲載	随 時
市、消防本部のホームページへの掲載	随 時
瀬戸内市防災無線広報	随 時
防火看板類の掲示	本署で年間を通じて防火標語、本署・両分駐所で火災予防運動期間中



1 通信指令施設

設 置 名 等			設置数	備 考
指 令 装 置	指令台 (分離設置型)	119番受付回線	12	FAX含
		指令回線	3	本署、牛窓、長船
		一般加入回線	2	INS回線
	自動出動指定装置		1式	
	地図等検索装置		2台	
	長時間録音装置		1台	
	非常用指令設備		1台	
	指令制御装置		1台	
	署所端末装置		3式	本署、牛窓、長船
	携帯電話・IP電話受信転送装置		1式	指令制御装置内蔵
	無線指令受付装置		2式	牛窓、長船
	駆込通報装置		3式	本署、牛窓、長船
表 示 盤	車両運用表示盤		1面	55インチ
	支援情報表示盤		1面	55インチ
	多目的情報表示盤		1面	55インチ
	映像制御装置		1式	
	告知表示盤		5面	
無 線 統 制 台			1台	
指 令 伝 送 装 置	指令情報送信装置		1式	
	指令情報出力装置		3式	
気 象 情 報 収 集 装 置			1式	
災害状況等自動案内装置			1式	
順 次 指 令 装 置			1式	
音 声 合 成 装 置			1式	
署所監視カメラシステム			7台	WEBカメラ
出動車両運用管理装置			1式	

設 置 名 等		設置数	備 考
シ ス テ ム 監 視 装 置		1式	
電 源 設 備		1式	
位 置 情 報 通 知 シ ス テ ム		1式	統合型
I T 情 報 端 末 (W e b 型)		2式	指令台併設型
N E T 119 受信装置		1式	
1 1 9 番 受 信 F A X		1式	
メー ル 1 1 9 番 受 信 装 置		1式	
1 1 9 番 補 助 受 付 装 置		2式	
防 災 無 線 連 動 装 置		1式	
消 防 情 報 支 援 シ ス テ ム	消防情報管理装置	1式	
	消防情報支援端末装置	5式	
避 雷 装 置	高速電源避雷器	3式	本署、牛窓、長船
	高速回線避雷器	1式	

2 有線通信施設

種 別	設置数	備 考
1 1 9 番 受 付 回 線	12	固定7、携帯4、FAX1
一 般 加 入 回 線	10	本部・本署 8、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1
携 帯 電 話	9	救急車4、本部・本署2、牛窓分駐所1、長船分駐所 1、指揮車1
フ ァ ク シ ミ リ	4	本部・本署 2、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1
テ レ ホ ン サ ー ビ ス	1	火災情報案内

3. 無線通信施設

デジタル無線(260MHz帯)

チャンネル番号	種 別	運用区分
1	活動波 1	火災、救急等の業務全般に使用
2	活動波 2	
3	主運用波 7	県内からの応援部隊による火災、救急業務等及び消防機関相互の連絡調整に使用
4	統制波 1	異なる都道府県に属する消防機関相互の応援活動を行う場合において、各消防機関相互の通信統制を行うために使用
5	統制波 2	
6	統制波 3	
7	主運用波 1	広域応援又は救援時に限り使用
8	主運用波 2	
9	主運用波 3	
10	主運用波 4	
11	主運用波 5	
12	主運用波 6	

種 別	局 数	設 置 場 所	
固 定 局	2 局	四辻山基地局 1、倉懸山中継所 1	
基 地 局	2 局	四辻山基地局 1、牛窓基地局 1	
陸上移動局	卓上型(5W)	3 局	消防本部 1、牛窓分駐所 1、長船分駐所 1
	車載型(5W)	1局	瀬戸内市消防本部 指揮車 1
		10局	瀬戸内市消防署 消防車 4、救急車 2、救助工作車 1、資機材搬送車 3
		2局	牛 窓 分 駐 所 消防車 1、救急車 1
		2局	長 船 分 駐 所 消防車 1、救急車 1
	可搬型(5W)	1局	瀬戸内市消防署 1
	携帯型(1W)	18局	瀬戸内市消防署 14、牛窓分駐所 2、長船分駐所 2

署活系無線 アナログ無線(400MHz帯)

チャンネル番号	種 別	運用区分
1	署活波1	免許人の管轄区域及びその周辺以外においては、緊急消防援助隊が消防の応援等のために出動するとき又は訓練時に限る
	緊急消防援助隊用波10	
2	署活波2	
	緊急消防援助隊用波12	
3	緊急消防援助隊用波1	緊急消防援助隊の応援等のために出動するとき又は訓練時に限る
4	緊急消防援助隊用波2	
5	緊急消防援助隊用波3	
6	緊急消防援助隊用波4	
7	緊急消防援助隊用波5	
8	緊急消防援助隊用波6	
9	緊急消防援助隊用波7	
10	緊急消防援助隊用波8	
11	緊急消防援助隊用波9	
12	緊急消防援助隊用波11	
13	緊急消防援助隊用波13	
14	緊急消防援助隊用波14	
15	緊急消防援助隊用波15	
16	緊急消防援助隊用波16	
17	緊急消防援助隊用波17	
18	防災相互波	他の防災関係機関所属の無線局と通信を行う場合に限る

種 別	局 数	設 置 場 所
陸上移動局	署活系無線	26局
		瀬戸内市消防署 20、牛窓分駐所 3、長船分駐所 3

4. 火災報知専用電話(119)月別受信状況

通報の 種別 月 別	火 災	救 （ 救 助 含 む ） 急	そ 災 の 他 の 害	問 合 せ	回 線 試 験	い た ず ら	間 違 い	そ の 他	転 送	合 計
1 月	4	220	4	12	14	0	5	46	18	323
2 月	0	186	1	5	16	0	16	66	9	299
3 月	3	170	1	9	22	1	5	50	17	278
4 月	1	154	0	5	45	0	9	40	8	262
5 月	0	173	2	3	4	0	19	61	14	276
6 月	2	170	1	6	10	0	11	55	19	274
7 月	1	172	3	8	19	0	13	45	10	271
8 月	3	178	3	11	5	0	8	109	19	336
9 月	1	165	6	8	9	0	13	42	7	251
1 0 月	0	160	1	2	39	0	10	48	10	270
1 1 月	0	171	1	7	248	2	6	72	11	518
1 2 月	2	171	3	6	39	0	7	69	13	310
合 計	17	2,090	26	82	470	3	122	703	155	3,668

5. 医療機関問い合わせの受付状況

診療科目	内科		外科・整形外科		脳外科		小児科		精神科		産科・婦人科		循環器科		眼科		耳鼻咽喉科		歯科		泌尿器科		合計	
受付の種別	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入	119	加入
8:30～17:00	9	2	6	8	1	1	5	3	1	0	0	0	0	2	4	0	2	0	0	1	1	25	20	
17:00～8:30	21	2	9	8	2	1	6	2	2	0	0	0	0	5	4	0	0	0	0	2	0	47	17	
合 計	30	4	15	16	3	2	11	5	3	0	0	0	0	7	8	0	2	0	0	3	1	72	37	

6. 月別気象状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	備 考
気温 ℃	平均気温	3.4	2.5	8.1	13.1	17.8	23.1	28.2	28.6	25.7	15.1	12.2	7.6	年平均 15.5 ℃
	最高気温	13.2	13.5	23.2	25.2	28.3	33.1	34.9	36.8	35.2	22.9	23.2	19.5	年最高 36.8 ℃
	最低気温	-4.3	-5.9	-3.3	0.2	5.7	12.2	21.0	22.3	15.4	4.8	2.7	-2.4	年最低 -5.9 ℃
湿度 %	平均湿度	54.3	53.6	56.1	49.2	51.1	64.0	60.5	60.9	65.4	76.7	76.6	73.6	年平均 61.8 %
	最低湿度	38.8	28.3	22.2	18.6	17.4	33.3	44.4	41.1	45.0	35.4	33.1	28.3	年最低 17.4 %
天 候	晴天日数	25	17	10	12	12	14	26	19	12	21	24	22	214 日 58.5 %
	曇天日数	3	6	10	9	9	6	2	7	7	7	3	5	74 日 20.2 %
	降雨日数	3	5	11	9	10	10	3	5	11	3	4	3	77 日 21.0 %
	降雪日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 日 0.0 %
	霧日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 日 0.0 %
	降雨量mm	5.0	5.0	32.0	15.0	32.0	52.5	14.5	25.0	59.0	58.0	24.0	9.0	総雨量 331.0 mm
風 向 風 速	平均風速	2.0	2.5	2.1	2.0	2.2	1.7	2.0	1.4	1.4	1.7	1.7	2.0	年平均 1.9 m
	最大瞬間風速	19.8	21.1	19.9	15.6	20.3	12.9	12.2	12.8	15.5	12.1	14.8	16.7	年最大 21.1 m
	平均風向	西北西	北西	北西	北西	西南西	東南東	南西	東南東	北西	南東	北西	北西	年最多 北西

備考

1 平均気温、平均湿度、平均風速については、1時間ごとの平均値とし、瀬戸内市消防本部の気象観測による。

2 天候については、午前9時の気象による。

7. 瀬戸内市の震度に関する情報

令和7年

地震発生の日時	震央地名	震源の深さ	地震の規模	最大震度	瀬戸内市の 震度・観測場所	
1月13日 21時19分	日向灘	30km	M6.4	5弱	長船町 邑久町	震度1

令和5年	瀬戸内市の震度1以上の有感回数	7回
令和6年	瀬戸内市の震度1以上の有感回数	1回

備考1 観測場所について、「瀬戸内市邑久町」は瀬戸内市役所、「瀬戸内市牛窓町」は牛窓支所、「瀬戸内市長船町」は長船支所の所在地です。

2 平成15年12月16日付けで東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進地域の指定を受ける。

警 防 消 防

1. 消防車両現勢一覧

令和8年4月1日現在

所 属	車 種	名 称	登 録 番 号	車 両 年 式	原 動 機 性 能		ポ ン プ 性 能		積 載 資 器 材
					気 筒 数	排 気 量	級 別	規 格 放 水 量	
瀬 戸 内 市 消 防 本 部	水 槽 付 ポンプ車	瀬 戸 内 1 号 車	岡山800 は17-37	令和2年	4	5,120	A2	2.0	水槽2000ℓ、CAFS泡消火薬液120ℓ、筒先(エコファイターノズル、Gフォースノズル、クアドラノズル、)、空気呼吸器、三連梯子、投光器、発電機、消防用ホース、エンジンカッター、チェーンソー、自動昇降装置電動ホースカー、フォグネイル、マルチツール
	高 規 格 救 急 車	瀬 戸 内 3 号 車	岡山800 す24-04	平成17年	6	3,490			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等 オゾン発生装置、冷温蔵庫
	資 機 材 搬 送 車	瀬 戸 内 4 号 車	岡山480 た60-92	平成28年	3	650			
	資 機 材 搬 送 車	瀬 戸 内 5 号 車	岡山 80 あ17-03	平成13年	3	650			
	連 絡 車	瀬 戸 内 6 号 車	岡山480 な40-91	令和3年	3	650			
	指 揮 車	瀬 戸 内 7 号 車	岡山800 せ42-85	令和6年	4	2,500			ドローン、ポータブル電源、移動式指揮板、タブレット、コピー機、火災原調器具、イージーアップテント、タワーライト、ポータブル扇風機、距離・風速計、サイドオーニング、保冷库
	資 機 材 搬 送 車	瀬 戸 内 8 号 車	岡山880 あ26-23	令和5年	3	650			
	資 機 材 搬 送 車	瀬 戸 内 9 号 車	岡山800 せ30-63	令和4年	4	4,000			ゴムボート、船外機一式、水難救助器具一式
	連 絡 車	瀬 戸 内 10号車	岡山581 の27-74	令和3年	3	650			
	高 規 格 救 急 車	瀬 戸 内 11号車	岡山800 せ23-57	令和2年	6	2,690			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等、 冷温蔵庫、オゾン発生装置
	ブーム付 多 目 的 車	瀬 戸 内 12号車	岡山800 は18-86	令和5年	4	5,120	A2	2.0	水槽900ℓ、CAFS、泡消火薬剤60ℓ、13.7m、筒先(エコファイターノズル、クアドラノズル)、空気呼吸器、三連梯子、消防用ホース
	ポンプ車	瀬 戸 内 13号車	岡山800 す58-47	平成22年	4	4,000	A2	2.0	可搬ポンプ式(C-1)、二連梯子、消防用ホース、筒先(クアドラノズル)、空気呼吸器、投光器、発電機、電動ホースカー、ジェットシューター
牛 窓 分 駐 所	連 絡 車	瀬 戸 内 14号車	岡山480 て71-69	令和1年	4	650			放送設備
	ポンプ車	瀬 戸 内 15号車	岡山800 す-16	平成16年	4	4,890	A2	2.0	可搬ポンプ式(C-1)、二連梯子、消防用ホース、空気呼吸器、投光器、発電機、電動ホースカー、筒先(クアドラノズル、フォグガン)、ジェットシューター
	救 助 工 作 車	瀬 戸 内 16号車	岡山800 は-7-62	平成16年	6	6,400			一般救助器具、重量物排除器具、切断用器具、破壊用器具、測定用器具、呼吸保護用器具、隊員保護用器具、水難救助用器具等
	ポンプ車	牛 窓 1 号 車	岡山800 せ40-72	令和5年	4	4,000	A2	2.0	水槽600ℓ、CAFS泡消火薬液60ℓ、筒先、空気呼吸器、三連梯子、投光器、消防用ホース、エンジンカッター、電動ホースカー、ジェットシューター
	高 規 格 救 急 車	牛 窓 2 号 車	岡山800 せ29-87	令和3年	4	2,480			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等 オゾン発生装置、冷温蔵庫
長 船 分 駐 所	ポンプ車	長 船 1 号 車	岡山800 せ・5-82	平成29年	4	4,000	A2	2.0	水槽600ℓ、CAFS泡消火薬液60ℓ、筒先、空気呼吸器、三連梯子、投光器、消防用ホース、エンジンカッター、電動ホースカー、ジェットシューター
	高 規 格 救 急 車	長 船 2 号 車	岡山800 す73-99	平成24年	6	3,490			気道確保器具一式、除細動器、気管挿管セット、人工呼吸器、薬剤、輸液セット、固定器具、患者監視モニター等 静脈可視装置、オゾン発生装置、冷温蔵庫

2. 火災概況

種 別	令和5年	令和6年	令和7年
出 火 件 数 (件)	16	17	17
焼 損 棟 数 (棟)	18	10	4
り 災 世 帯 数 (世帯)	6	6	2
り 災 人 員 (人)	13	17	5
死 者 (人)	0	0	1
負 傷 者 (人)	2	2	6
焼 損 床 面 積 (㎡)	384	525	9
焼 損 表 面 積 (㎡)	39	0	15
林 野 焼 損 面 積 (a)	7	42	65
損 害 額 (千円)	21,095	52,926	3,236
1 日 平 均 出 火 件 数 (件)	0.04	0.05	0.05
1 日 平 均 り 災 人 員 (人)	0.04	0.05	0.01
1 日 平 均 り 災 世 帯 (世帯)	0.02	0.02	0.005
1 日 平 均 り 災 損 害 額 (千円)	58	145	9
建物火災1件当りの損害面積 (㎡)	43	66	2
火 災 1 件 当 り の 損 害 額 (千円)	1,318	3,113	190
住 民 1 人 当 り の 損 害 額 (円)	578	1,464	198
1 世 帯 当 り の 損 害 額 (円)	1,305	3,249	3,249
市 の 人 口 (人)	36,484	36,160	35,857
市 の 世 帯 数 (戸)	16,166	16,288	16,366
出 火 率	4.4	4.7	4.7

※人口・世帯数は各年1月1日現在

※出火率:人口1万人あたりの出火件数

3. 過去3年間の出火原因別火災発生状況

令和7年

火災種別	出火原因	たばこ	こんろ	ローソク・蚊取線香	ゴミ焼却炉	電気ストーブ	グライNDERの火花	電気機器	交通機関内配線	枯草焼き	整流器・充電器	静電気	金属と金属の衝突の火花	配線器具・配電線	マッチ・ライター	たき火	風呂かまど	個体の衝突摩擦による火花	他本部からの延焼	取灰	火のついたごみ	火遊び	放火	放火の疑い	その他	不明	計
建 物					1			2																1		4	
林 野																3									1	4	
車 両																		1								1	
その他					1					1				2	3									1		8	
爆 発																											
計					2			2		1				2	6		1							2	1	17	

令和6年

火災種別 \ 出火原因	たばこ	こんろ	ローソク・蚊取線香	ゴミ焼却炉	電気ストーブ	グライNDERの火花	電気機器	交通機関内配線	枯草焼き	煙突・煙道	静電気	金属と金属の衝突の火花	配線器具・配電線	マッチ・ライター	たき火	風呂かまど	個体の衝突摩擦による火花	他本部からの延焼	取灰	火のついたごみ	炭火	放火	放火の疑い	その他	不明	計
建 物										1			2	3							1		1			8
林 野									1					3												4
車 両								1														1				2
その他														1									1	1		3
爆 発																										
計								1	1	1			2	7							1	1	2		1	17

令和5年

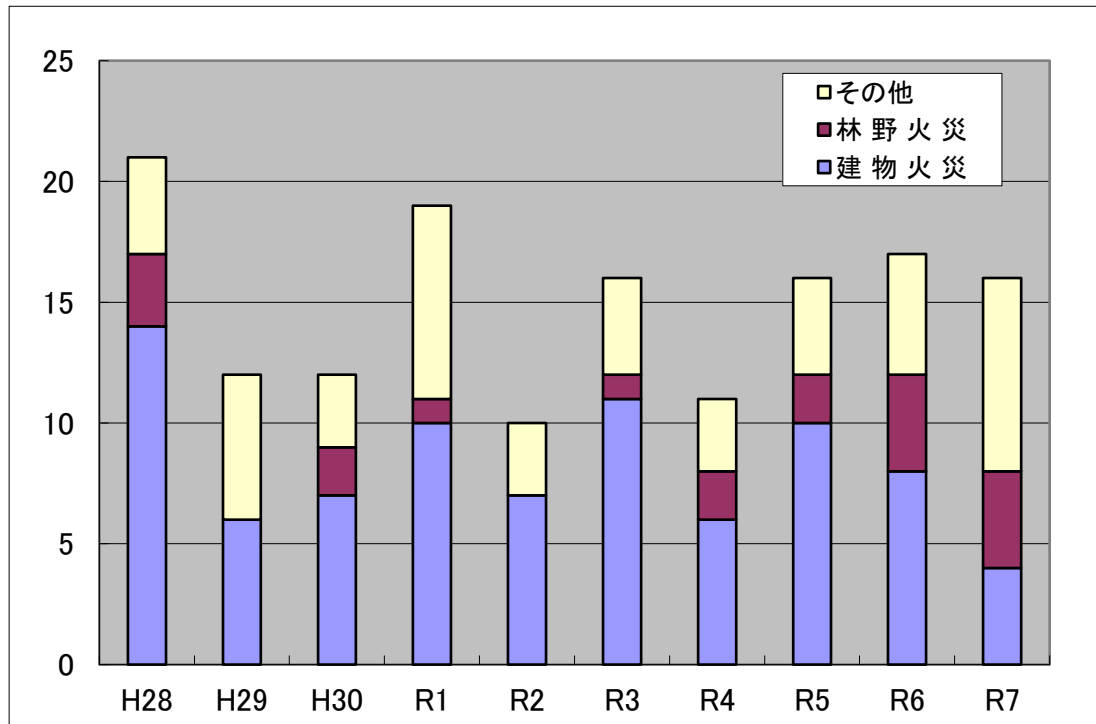
火災種別 \ 出火原因	たばこ	こんろ	ローソク・蚊取線香	ゴミ焼却炉	電気ストーブ	テーブルタップ	電気機器	交通機関内配線	枯草焼き	煙突・煙道	静電気	金属と金属の衝突の火花	配線器具・配電線	マッチ・ライター	たき火	ボイラー	個体の衝突摩擦による火花	ハンドトーチ	取灰	火のついたごみ	炭火	放火	放火の疑い	その他	不明	計
建 物						1					1			1	1					1		1			4	10
林 野														1										1		2
車 両																				1						1
その他																	1	1						1		3
爆 発																										
計						1					1			2	1	1	1			2		1			6	16

4. 過去5年間の火災発生比較

区分	年別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火 災 件 数		16	11	16	17	17
	建 物	11	6	10	8	4
	林 野	1	2	2	4	4
	車 両	2	1	1	2	1
	そ の 他	2	2	3	3	8
焼 損 棟 数		21	8	18	10	4
	全 焼	8	3	6	3	0
	半 焼	1	0	1	1	0
	部 分 焼	6	2	6	1	4
	ぼ や	6	3	5	5	0
焼 損 面 積	焼損床面積(㎡)	448	429	384	525	9
	焼損表面積(㎡)	59	32	39	0	15
	林 野(a)	3	12	7	42	65
り 災 世 帯 数		6	4	6	6	2
り 災 人 員		12	8	13	17	5
死 者		3	1	0	0	1
負 傷 者		1	1	2	2	6
損 害 額 (千円)		16,681	8,999	21,095	52,926	3,236
	建 物	15,412	8,980	20,640	51,644	1,668
	林 野	0	0	0	0	13
	車 両	1,249	10	455	1,264	395
	そ の 他	20	9	0	18	1,160

5. 過去10年間の火災動向

年	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
建物火災	14	6	7	10	7	11	6	10	8	4
林野火災	3	0	2	1	0	1	2	2	4	4
その他	4	6	3	8	3	4	3	4	5	8
合計	21	12	12	19	10	16	11	16	17	17



6. 水 利 現 況

令和7年12月31日現在

区別 \ 町別		牛窓町	邑久町	長船町	計
消火栓	75mm	83	241	237	561
	100mm	54	107	114	275
	150mm	49	66	88	203
	200mm以上	54	57	16	127
	計	240	471	455	1,166
防火水槽	20m³以上40m³未満	3	3	16	22
	40m³以上	18	64	35	117
その他	プール	3	6	3	12
	接岸(海)	4	4	0	8

警 防 救急・救助

1. 救 急 概 況

項 目	令和6年		令和7年	
1. 出 場 件 数	2, 282件		2, 247件	
火 災	1件	0.0%	6件	0.3%
自 然 災 害	0件	0.0%	0件	0.0%
水 難	3件	0.1%	1件	0.0%
交 通	99件	4.3%	107件	4.8%
労 働 災 害	23件	1.0%	17件	0.8%
運 動 競 技	9件	0.4%	15件	0.7%
一 般 負 傷	410件	18.0%	427件	19.0%
加 害	2件	0.1%	2件	0.1%
自 損 行 為	14件	0.6%	15件	0.7%
急 病	1, 524件	66.8%	1, 449件	64.5%
そ の 他	197件	8.6%	208件	9.3%
2. 傷 病 者 搬 送 件 数	2, 138件		2, 101件	
3. 搬 送 人 員	2, 151人		2, 113人	
男	1, 097人	51.0%	1, 109人	52.5%
女	1, 054人	49.0%	1, 004人	47.5%
4. 出 場 件 数 の 多 い 月	7月		1月	
5. 出 場 件 数 の 多 い 曜 日	月曜日		水曜日	
6. 出 場 件 数 の 多 い 時 間 帯	10～12時		8～10時	
7. 1 日 の 最 多 出 場 件 数	19件		14件	
8. 1 日 の 最 少 出 場 件 数	0件		0件	
9. 1 日 当 た り の 平 均 出 場 件 数	6. 2件		6. 1件	
10. 1 日 当 た り の 平 均 搬 送 員	5. 9人		5. 8人	
11. 1 件 当 た り の 医 療 機 関 問 合 わ せ 回 数	1. 54回		1. 51回	
12. 人 口 に 対 す る 搬 送 人 員	16. 8人に1人		17. 0人に1人	
	令和7年1月1日現在		令和8年1月1日現在	
	人 口 36, 160人		人 口 35, 857人	
	世帯数 16, 288戸		世帯数 16, 366戸	

2. 時間別出場件数

時 間 区 分	件 数	時 間 区 分	件 数
0 ～ 2	74	12 ～ 14	280
2 ～ 4	63	14 ～ 16	252
4 ～ 6	76	16 ～ 18	265
6 ～ 8	137	18 ～ 20	196
8 ～ 10	321	20 ～ 22	165
10 ～ 12	305	22 ～ 24	113

3. 過去5年の署所別出場件数

年	3年	4年	5年	6年	7年
本 署	963	1,116	1,208	1,232	1,199
牛窓分駐所	275	346	345	356	349
長船分駐所	595	640	670	694	699
計	1,833	2,102	2,223	2,282	2,247

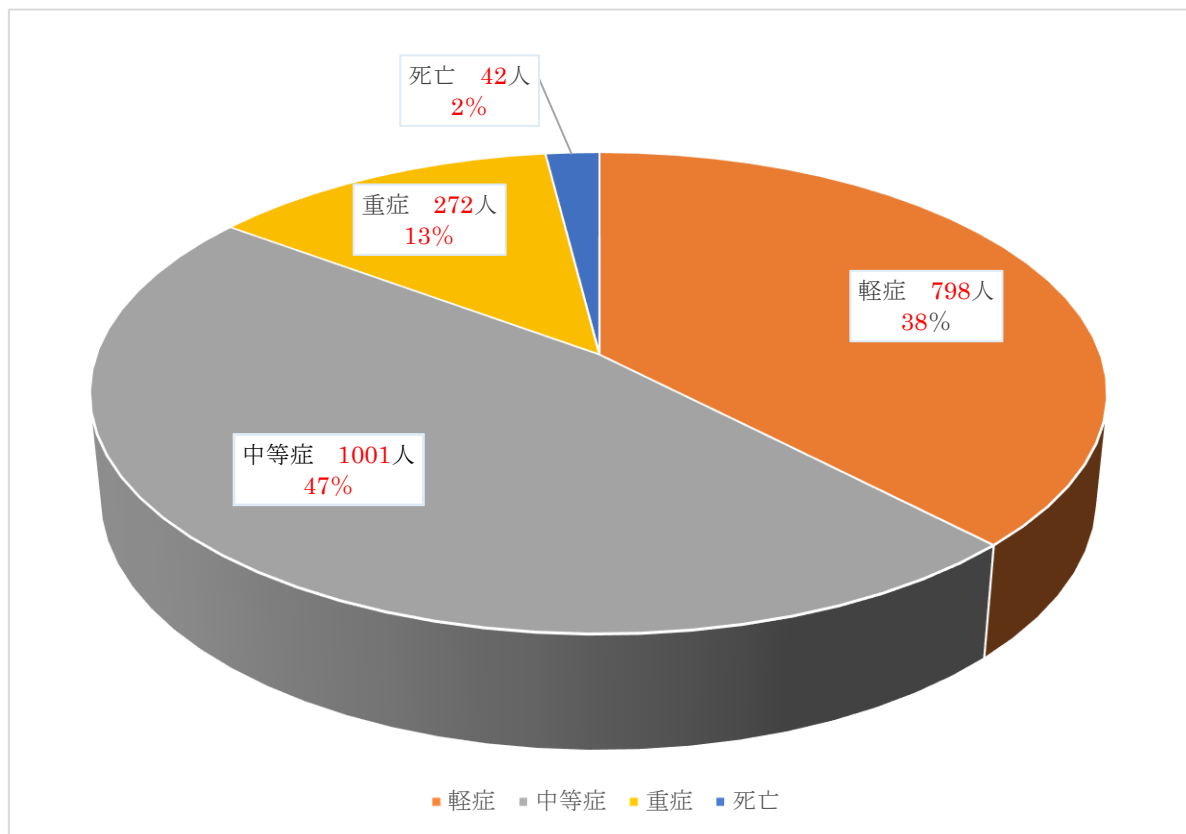
4. 曜日別月別救急出場件数

事故種別 区 分		火災	自 然 災 害	水難	交通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加害	自 損 行 為	急病	そ の 他				計
												転院搬送	医師搬送	資器材等	その他	
曜 日 別	月				18	1		57		3	215	32			3	329
	火			1	21	4		52		4	214	32				328
	水	1			23	3	1	74		2	209	37			1	351
	木	1			10	3	1	47	1	2	191	28			3	287
	金				14	2	2	57	1	1	208	39				324
	土	1			8	3	7	77			202	22			2	322
	日	3			13	1	4	62		3	211	9				306
	計	6		1	107	17	15	426	2	15	1450	199			9	2247
月 別	1 月	3			8	1		37			172	17				238
	2 月				5	4	2	32		1	131	19			2	196
	3 月	2			6	4	1	34		2	103	28				180
	4 月				7		1	22		2	122	9			1	164
	5 月				12		2	29	1		114	24			1	183
	6 月	1			9		1	40		2	113	14			1	181
	7 月				19	2		35		1	115	14			3	189
	8 月				13		3	27		1	144	11				199
	9 月				7	4	1	42		2	115	10			1	182
	10月				6		2	38		1	102	23				172
	11月				8		1	50		2	105	17				183
	12月			1	7	2	1	40	1	1	114	13				180

5. 事故種別出場件数と男女別搬送人員

事 故 種 別	出 場 件 数	搬 送 人 員		
		男	女	計
火 災	6	6		6
自 然 災 害				
水 難	1	1		1
交 通	107	51	53	104
労 働 災 害	17	12	6	18
運 動 競 技	15	14	1	15
一 般 負 傷	427	180	227	407
加 害	2	1		1
自 損 行 為	15	4	7	11
急 病	1449	732	619	1351
そ の 他	208	108	91	199
合 計	2247	1109	1004	2113

6. 傷病程度別搬送状況(搬送人員2,113人 100%)



7. 年齢区分別傷病程度の状況

区 分 程 度	新 生 児 (生後1カ月未満)	乳 幼 児 (生後1カ月～6才)	少 年 (7才～17才)	成 人 (18才～64才)	高 齢 者 (65才以上)	計
死 亡				10	32	42
重 症		4		35	233	272
中 等 症	1	13	16	140	831	1001
軽 症		52	54	276	416	798
そ の 他						
計	1	69	70	461	1512	2113



岡山大学病院 ドクターカーとの連携訓練の様子

8. 事故種別応急処置状況

事故種別	搬送人員	応急処置対象人員	止血	固定	人工呼吸	心臓マッサージ	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	在宅療法	血糖測定・エピペン・ブドウ糖	除細動	輸液	薬剤投与	その他	血圧測定	聴診器	血中酸素	心電図	合計
急病	1352	1352	13	28	1		36	305	45	56	10	11	39	5	27	17	80	1300	577	1316	855	4721
交通	104	104		65				9		6	18				1		5	102	58	104	36	404
一般負傷	406	406	41	138			9	29	9	11	57	2	3		6	4	7	395	104	397	119	1331
上記以外	251	251	10	19			2	54	2	8	6		1		1		14	247	68	249	111	792
計	2113	2113	64	250	1		47	397	56	81	91	13	43	5	35	21	106	2044	807	2066	1121	7248

9. 急病にかかる疾病分類・傷病程度別搬送人員

疾病分類 傷病程度	循環系		消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	不明確	計
	脳疾患	心疾患等									
死亡		13		1				1	4	14	33
重症	34	38	13	31		8	7	10	20	21	182
中等症	61	45	69	101		22	54	18	136	115	621
軽症	24	27	42	44	17	36	29	1	116	180	516
その他											
計	119	123	124	177	17	66	90	30	276	330	1352

10. 医療機関別搬送人員

区 分	医 療 機 関															そ の 他 の 場 所	合 計
	救急告示医療機関					その他の医療機関					計						
	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計	国 ・ 公 立	公 的	私 的		計		
		病 院	診 療 所					病 院	診 療 所					病 院		診 療 所	
人 員	933	261	849	11	2054	1	0	53	5	59	934	261	902	16	2113	0	2113
	(238)	(261)	(849)	(11)	(1359)	(1)		(53)	(3)	(57)	(239)	(261)	(902)	(14)	(1416)		(1416)
割 合 (%)	100															0	100
	97.2					2.8					100						
	45.5	12.7	41.3	0.5	100	1.7	0.0	89.8	8.5	100	44.2	12.3	42.7	0.8	100		

※ () うち書きは、管外の医療機関に収容した人数。

11. 管内管外別搬送人員

事故種別 区分	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その 他	計
管内に居住 している者	3		1	55	9	2	379	1	11	1223	164	1848
管外に居住 している者	3			48	9	13	27			129	35	264
計	6		1	104	18	15	406	1	11	1352	199	2113

12. 現場到着所要時間別出動件数状況

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着最短 所要時間(分)	現場到着最長 所要時間(分)	現場到着 平均所要 時間(分)
急 病	13	15	797	611	14	1450	0	35	9.4
交 通	2	5	41	54	5	107	1	62	10.7
一般負傷	9	10	235	164	8	426	0	36	9.3
上記以外	3	34	159	58	10	264	1	43	8.8
計	27	64	1232	887	37	2247			

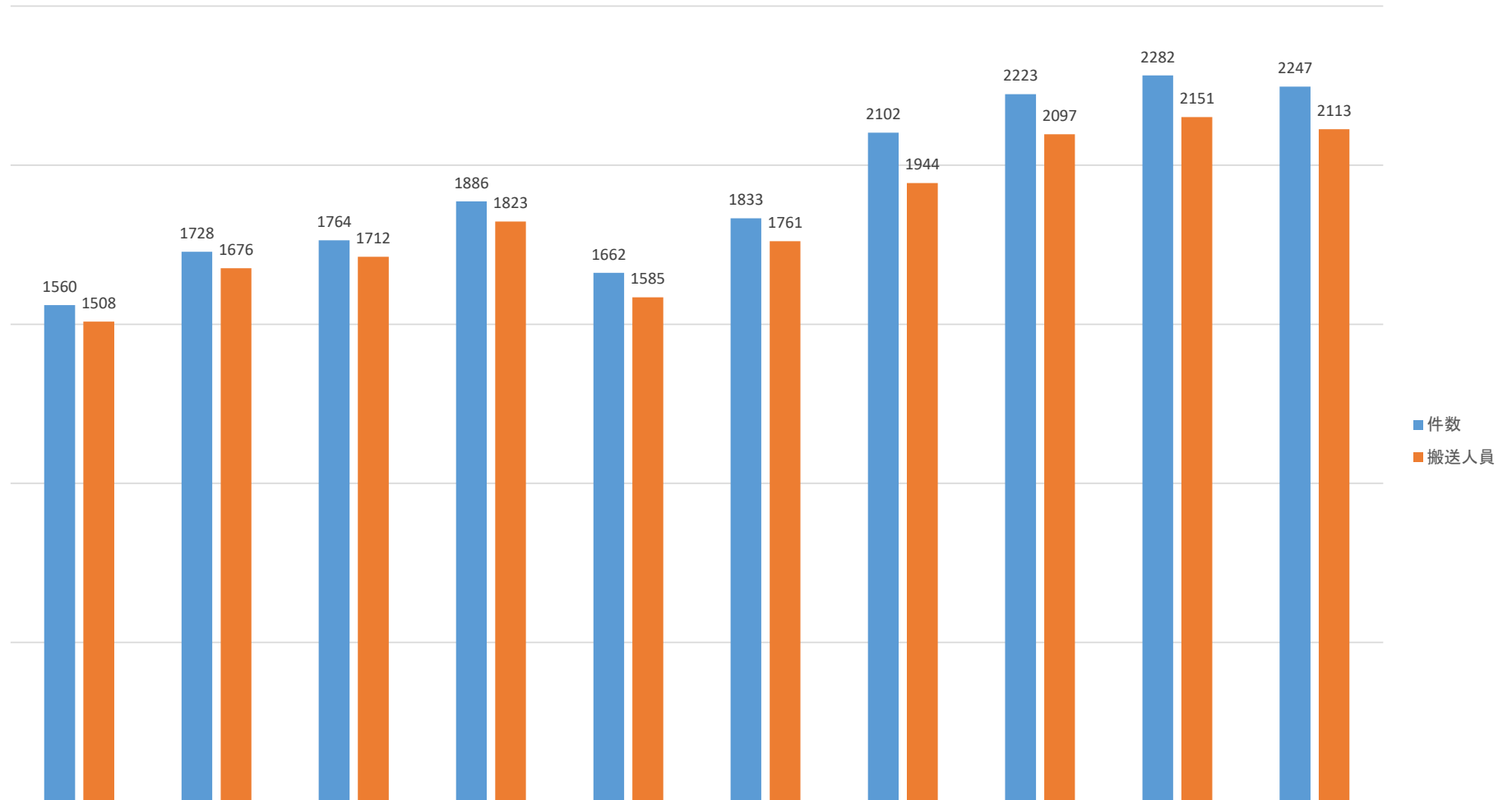
13.收容所要時間別搬送人員狀況

時間(分) 事故種別	10未満	10～20	20～30	30～60	60～120	120以上	計
急病	1	7	192	1018	133	1	1352
交通		1	18	75	10		104
一般負傷		3	62	303	38		406
上記以外		4	29	195	23		251
計	1	15	301	1591	204	1	2113

14.発生場所別搬送人員

発生場所 事故種別	住宅	公衆出入	仕事場	道路	その他	計
急病	977	304	31	25	15	1352
交通		4		87	13	104
一般負傷	284	71	4	27	20	406
上記以外	17	216	11	3	4	251
計	1278	595	46	142	52	2113

15. 過去10年間の搬送状況

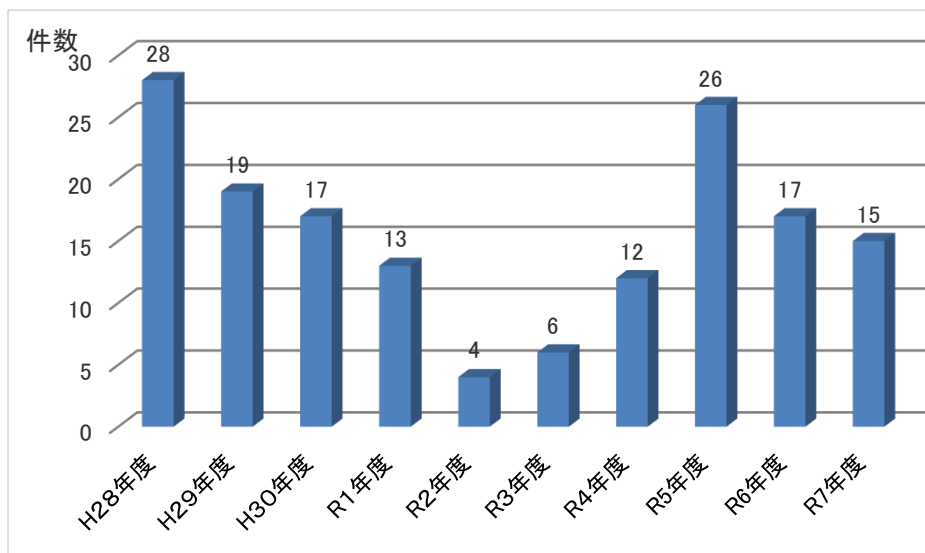


	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年
件数	1560	1728	1764	1886	1662	1833	2102	2223	2282	2247
搬送人員	1508	1676	1712	1823	1585	1761	1944	2097	2151	2113

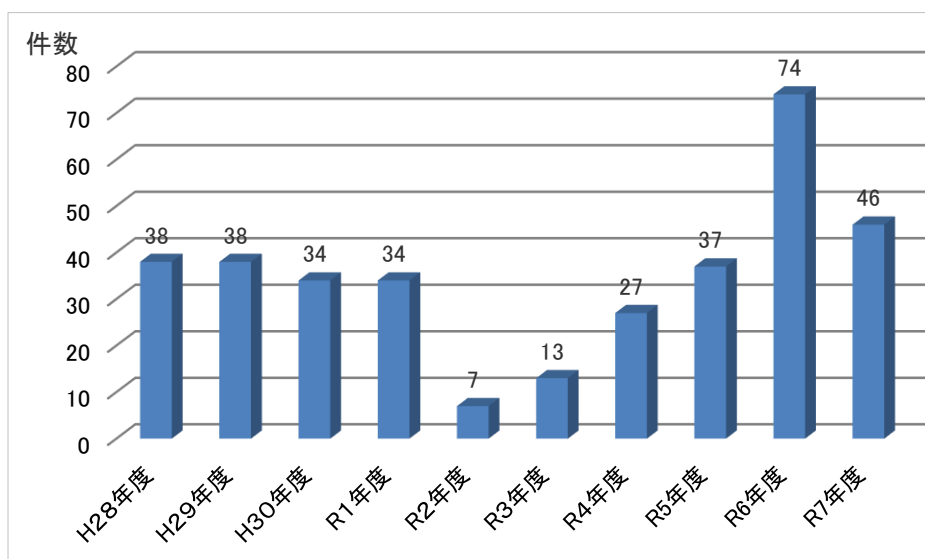
16. 事故種別年齢区分別搬送人員

事故種別 年齢区分	火 災	自然災害	水 難	交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	合 計
新 生 児 (生後1ヵ月未満)										1		1
乳 幼 児 (生後1ヵ月以上～6才)				2			14			51	2	69
少 年 (7才～17才)				14		12	12			28	4	70
成 人 (18才～64才)	2			55	9	3	50	1	8	302	31	461
高 齢 者 (65才以上)	4		1	33	9		330		3	970	162	1512
計	6		1	104	18	15	406	1	11	1352	199	2113

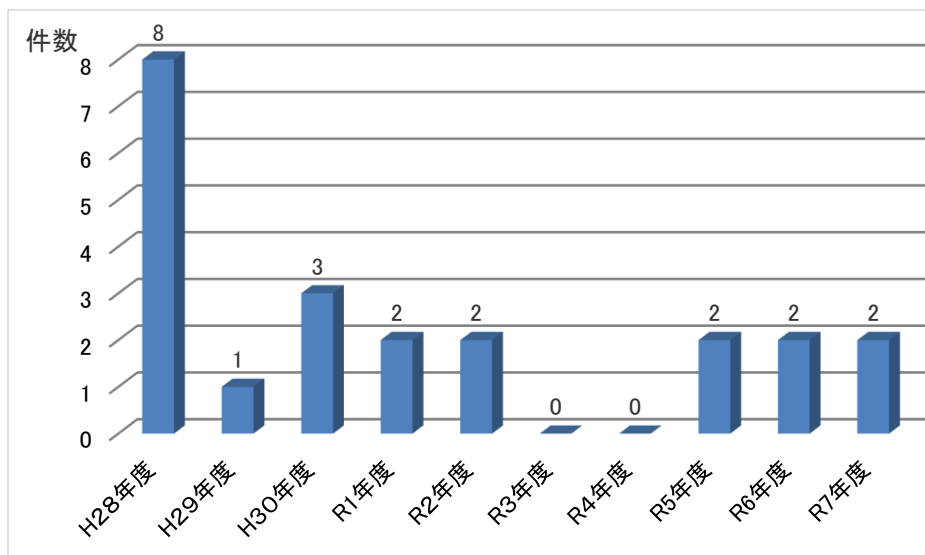
17. 実技指導



普通救命講習



応急手当



水上安全

18. 救 助 概 況

令和7年中

区 分 事故種別	出 動 件 数	活 動 件 数	救 助 人 員	出 動 人 員					出 動 車 両 等							
				計	専 任 救 助 隊 員	兼 任 救 助 隊 員	消 防 隊 員	救 急 隊 員	計	救 助 工 作 車	消 防 ポン プ 自 動 車	水 槽 付 ポン プ 車	指 揮 車・指 令 車	救 急 車	そ の 他 の 車 両	ヘ リ コ プ ター
合 計	32	18	16	220		116	5	99		30		2		34	2	
交 通 事 故	17	8	10	126		66	3	57		17		1		20	1	
水 難 事 故	1	1	1	7		4		3		1				1		
機 械 による 事 故																
建 物 等 による 事 故	8	7	4	52		26	2	24		7		1		8	1	
そ の 他 の 事 故	5	2	1	35		20		15		5				5		

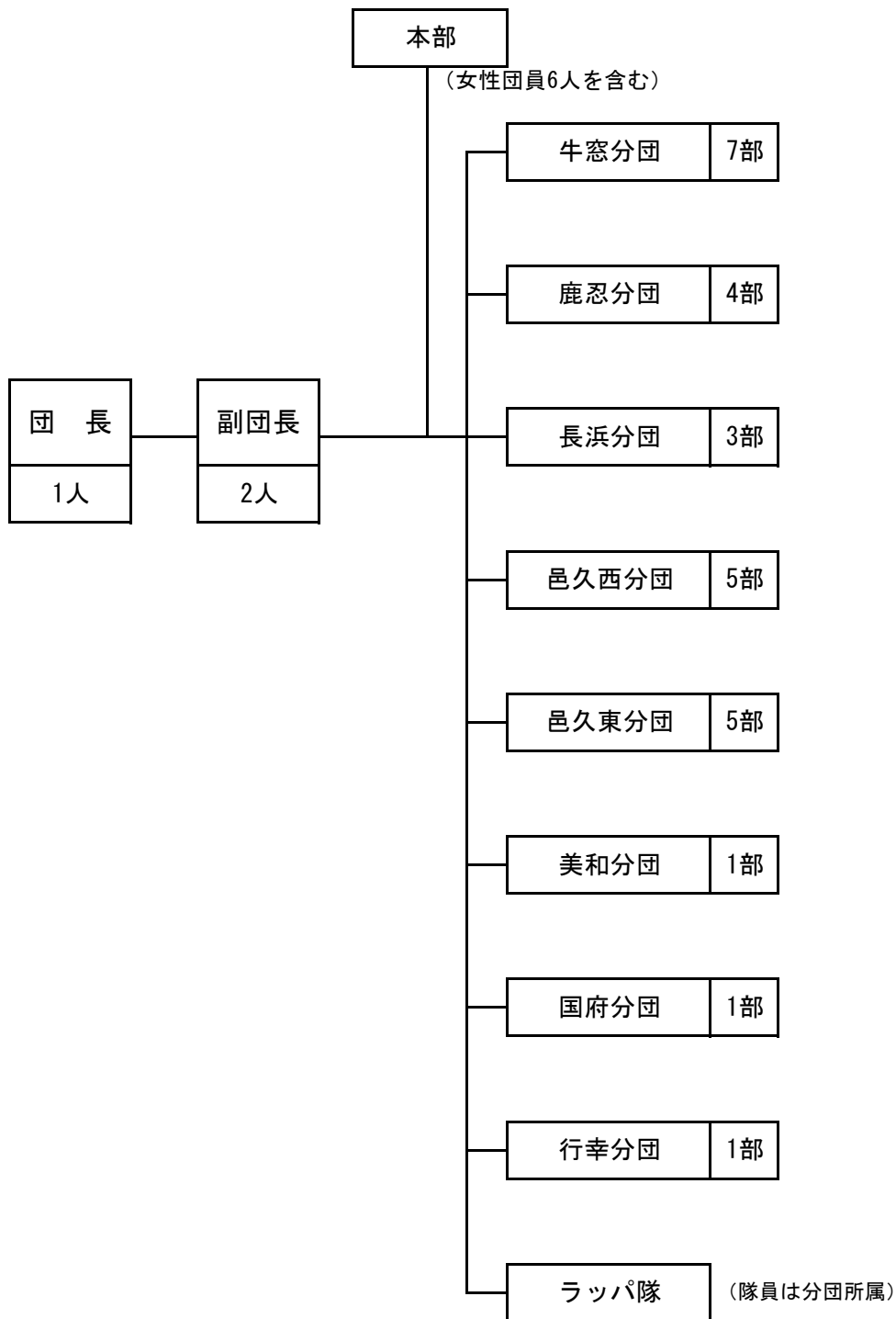


吉井川でのゴムボート操船訓練の様子

消 防 団

1. 消防団の組織及び定員

令和8年4月1日 現在



1 団 8 分団

定員 450人

実員 381人 (うち女性団員6人を含む)

2. 消防団階級別人員調

令和8年4月1日 現在

(単位：人)

階級 \ 所属	本部		牛窓	鹿忍	長浜	邑久西	邑久東	美和	国府	行幸	計
	幹部	本部									
団 長	1										1
副 団 長	2										2
分 団 長		6	1	1	1	1	1	1	1	1	14
副 分 団 長			1	2	1	2	1	1	1	1	10
部 長		3 (1)	7	4	3	5	5	1	1	1	30 (1)
班 長			7	7	4	5	5	4	4	4	40
団 員		5 (5)	55	21	31	61	33	24	24	30	284 (5)
合 計	3	14 (6)	71	35	40	74	45	31	31	37	381 (6)

※ () 数字はうち女性団員

令和8年4月1日 現在

年齢 \ 階級	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長 (うち女性団員)	班 長	団 員 (うち女性団員)	計 (うち女性団員)
18以上～20未満								0
20 ～ 25							7	7
25 ～ 30					1	2	9 (1)	12 (1)
30 ～ 35					2	1	26 (2)	29 (2)
35 ～ 40					2	3	24 (0)	29 (0)
40 ～ 45				0	2	9	48 (1)	59 (1)
45 ～ 50				3	5	9	53 (1)	70 (1)
50 ～ 55			3	3	11 (1)	12	57	86 (1)
55 ～ 60			7	0	5	3	34	49
60以上	1	2	4	4	2	1	26	40
計	1	2	14	10	30 (1)	40	284 (5)	381 (6)

4. 団員報酬及び諸手当

令和8年4月1日 現在

区分 階級	報酬 (年)	火災出動 (1回)		風水害等 その他の災害		警戒出動 等	訓練	その他
		4時間 未満	4時間 以上	4時間 未満	4時間 以上			
団 長	119,000	4,000	8,000	4,000	8,000	1,500	2,000	1,000
副 団 長	99,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
分 団 長	72,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
副 分 団 長	50,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
部 長	37,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
班 長	37,000	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
団 員	36,500	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

単位 (円)

5. 消防団車両状況

令和8年4月1日 現在

所 属	車 種	プレート番号	登録年月
団本部	指令車	岡山800 せ 37-62	R 5. 3
団本部	多機能車 (可搬 ^ホ ン ^フ 積載)	岡山800 す 58-65	H 22. 3
団本部	ポンプ車	岡山800 す 87-95	H 27. 2
団本部	防災活動車	岡山880 あ 17-33	H 29. 12
団本部	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車 (簡易 ^ホ ン ^フ 車)	岡山800 す 14-00	H 17. 2
団本部	オフロードバイク	1 岡山 め 12-41	R 8. 3
牛窓分団第1部 (東町)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山80 あ 19-11	H 14. 12
牛窓分団第2部 (関町)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山880 あ 28-95	R 8. 1
牛窓分団第3部 (中浦)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 23-99	R 2. 12
牛窓分団第4部 (紺浦)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山880 あ 21-85	R 2. 11
牛窓分団第5部 (師楽)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 さ 30-01	H 12. 2
牛窓分団第6部 (幡)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 41-17	R 5. 11
牛窓分団第7部 (前島)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山880 あ 13-28	H 26. 11
鹿忍分団第1部 (西浜)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 24-00	R 2. 12
鹿忍分団第3部 (野上)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山880 あ 20-26	R 1. 11
鹿忍分団第4部 (千手)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山80 あ 17-34	H 13. 9
鹿忍分団第5部 (西脇)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山80 あ 15-71	H 12. 12
長浜分団第1部 (奥浦)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 41-16	R 5. 11
長浜分団第2部 (小津)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 さ 30-02	H 12. 2
長浜分団第3部 (粟利郷)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山80 あ 19-10	H 14. 12
邑久西分団第1部 (邑久)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 13-80	H 31. 2
邑久西分団第2部 (福田)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 す 56-77	H 21. 12
邑久西分団第3部 (今城)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 35-44	R 4. 11
邑久西分団第4部 (豊原)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 す 56-79	H 21. 12
邑久西分団第5部 (笠加)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車 (簡易 ^ホ ン ^フ 車)	岡山800 す 42-45	H 19. 12
邑久東分団第1部 (本庄)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ ・ 702	H 30. 2
邑久東分団第2部 (玉津)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 す 50-04	H 20. 12
邑久東分団第3部 (鍛冶谷)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山880 あ 28-96	R 8. 1
邑久東分団第4部 (瀬戸)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 す 56-37	H 21. 12
邑久東分団第5部 (浜)	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 31-41	R 4. 3
美和分団	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 さ 99-83	H 16. 2
国府分団	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 46-62	R 6. 11
行幸分団	可搬 ^ホ ン ^フ 付積載車	岡山800 せ 46-63	R 6. 11

6. 出動状況

令和8年4月1日 現在

種別 分類	火 災	風水害等 の災害	演習・訓 練等	広 報	警防調査	特別警戒	その他	合 計
出動回数	9	1	116	2	26	18	210	382
出動人員	197	21	1,349	54	171	619	1,213	3,624

